



富永療養所（鵜渡越町）
市街地から俵ヶ浦半島、九十九島を一望できる弓張岳。標高三百餘呎付近に建つ旧弓張病院は、昭和八（一九三三）年、結核治療の富永療養所として建てられたのが始まりです。今は、改築中の老人ホームの仮施設となっていますが、病院は結核療養所（サナトリウム）から介護・リハビリテーション病院へと衣替えし、名称変更後、山手町に移転しています。

死亡率の高い国民病として恐れられていた結核は、新薬の開発で激減する昭和四十年ごろまでは、郊外の空気のきれいな場所で十分な栄養と安静を旨とする自然療法が治療の中心でした。佐世保で初めてのサナトリウムが富永療養所だったのです。

療養所の創設者富永猪佐雄氏は、明治三十三（一九〇〇）年波佐見町生まれ。昭和四年佐世保市で開業、その年、長男雄幸氏が生まれました。

歴史散歩



第509回

市長日記

節水にご協力を

ことしは夏から秋にかけて猛暑が続き、その上、平年の半分ほどしか雨が降りませんでした。9月には雨台風でも来てくれればと思うほど少雨で、ことしの冬は給水制限をお願いしなければならないのではないかと心配しています。本稿を書いている11月3日現在で貯水率は約66%。悪い予感的中しそうな感じで先行きを大変案じています。

このまま雨が降らない状態が続くと、11月6日から市民の皆さんに節水をお願いし、11月末には給水制限に入る可能性が大きくなっています。この予想がはずれることを期待するばかりですが、幸いにその後、雨に恵まれたとしても冬場は少雨しか期待できませんので厳しい状況が続くと思います。市民の皆さんのご協力をいただいてこの事態を乗り切らなければなりませんので、節水をよろしくお願いします。

本市はこれまでにさまざまな対策を実施してきましたが、水問題を抜本的に解決するには石木ダム（東彼杵郡川棚町）の建設しかありません。私は市長就任以降、毎月現地へ赴き、ダム建設に反対されている13戸の地権者のお宅を訪問していますが、今しばらく時間がかかりそうです。反対されている住民の皆さんのお気持ちは十分に理解できるのですが、25万5千人の市民の水を安定的に確保しなければならない佐世保市長としては、今後も反対されている皆さんにお願いを続けていく決意です。市民の皆さんもお願いする気持ちを強く持ってくださいとご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

今はひたすら給水制限にならないよう祈るのみですが、市民の皆さんにはどうぞ節水のご協力をお願いします。

佐世保市長 朝長 則男

筒井隆義
これまで山間の療養所建設には多くの困難が伴ったことでしょう。



SASEBO

編集後記

ことしの健康診断結果もまずまず良好で、まだまだメタボでないわたし。しかし、運動不足は深刻で、子どもの運動会では足がついていかず、町内清掃をすれば筋肉痛となんとも情けない秋を過ごしました。今回の特集でメタボの恐ろしさを知りその予防のために、通勤時は今までよりも歩くように心掛け、和食中心の食事にするなどできることから始めています。(Y)



元気な朝ごはんレシピ たっぷり具でスクランブル丼

<材料>4人分

ごはん600g
乾燥ひじき.....1g
スライスチーズ.....5枚
卵.....4個
トマト.....2個
かいわれ大根.....少々
塩.....小さじ1
油.....小さじ1



<作り方>

- ①ひじきを水で戻し、ゆがく。
- ②小さめに切ったトマトを、溶きほぐした卵に入れ、塩で味付けする。
- ③フライパンに油を熱し、②を流し込み、チーズをのせて、スクランブルエッグを作る。
- ④ごはんの上に③をのせる。
- ⑤①をふりかけて、かいわれ大根を飾り、出来上がり。

- 1人分の栄養価熱量 432kcal、たんぱく質 15.7g、脂質12.6g、塩分 2.3g
- 前の晩の残ったひじきを活用できます。
- この一品でカルシウム・たんぱく質などが取れ、スクランブルエッグのアレンジなので手軽に作るができます。

考えていただいた人

= 富澤詩穂さん、西田朋世さん、早岐明美さん、平川悠加さん、松尾知佳さん（以上、佐世保北中学校3年生）
/平成19年度ヘルシークッキングコンテスト・学生部門優秀賞

※テレホンガイドは20ページに掲載しています。

情報クリップ



城島健司旗争奪軟式野球選手権大会

10月20日、市内の小・中学生チームなどを対象とした第4回となる同大会が佐世保野球場で開催され、城島健司選手（シアトルマリナーズ）が駆け付けました。城島選手は「自分の野球の原点である佐世保野球場で自分の名前が付いた大会が開催されることを幸せに思います。来シーズンも佐世保の代表として大リーグで頑張ります」と開会式であいさつし、観客からたくさんの拍手が送られました。この大会は城島選手から本市への寄付金を活用して開催されています。



市民協働推進委員会からの答申書

10月26日、本市の市民協働推進計画の素案となる答申書が、同委員会から市長へ提出されました。これを受け本市では市民協働推進計画を今年度中に策定します。



市立看護専門学校の戴帽式

11月2日、市立看護専門学校で1年生40人の戴帽（たいぼう）式が行われました。燭台の灯はナイチンゲールの看護の精神を受け継ぐことを意味します。



子グマの「元気と美海」の一般公開

市亜熱帯動植物園の子グマの放し飼いが完成し、元気と美海（みみ）の一般公開が11月3日から始まりました。



第10回YOSAKOIさせば祭り

10月26日から28日、第10回YOSAKOIさせば祭りが開催され、140チーム、約7000人の踊り子が市内各所で熱い舞演を披露し、佐世保の街を沸かせました。

※広報係では第10回YOSAKOIさせば祭りの写真集を市ホームページ上に作成しました。次の要領をご覧ください。市ホームページの「キューちゃんの取材日記」→「よさこい総踊り」→「第10回YOSAKOIさせば祭りweb写真集へのリンク」